

佐々木農園の

農園便り

H20.7.13

vol. 1

☆20th アニバーサリー☆

早いもので、当園は直売を始めて今年で20年になります。これまで販売を続けることが出来たのは長い間応援していただいた皆様のおかげです。本当に有難うございます！まだまだ未熟な点が多々あると思います。これからも皆様からご意見をいただきながらもっともっと飛躍していこうと思っていますので、よろしくお願いします。



おやじ、ブドウについて熱弁中！



かあちゃん・むすこの摘粒風景

農園での農作業体験者を募集！

佐々木農園のことを皆様にもっと知っていただきたいと思い、今年度より農園の見学・研修など積極的に受け入れています。見学のみならず農作業を体験したいという方も♪

見学したい方や栽培体験をしてみたい方は下記連絡先にご連絡下さい！

＊栽培体験は葡萄（栽培体験）・梅（収穫体験）・畑（野菜など）を考えています。

葡萄の樹や畑のオーナーも同時募集していますので、興味がある方もお電話下さい。

連絡先 080-5266-3831（園主携帯）

佐々木農園が熊本日日新聞の朝刊に載りました！以下、新聞記事より抜粋

環境に優しい農業 体験!!

6月11日（水曜日）掲載

熊本市の城北幼稚園の園児と保護者十二組が八日、環境に優しい農業に取り組む菊池市重味の佐々木ぶどう農園を訪れ、ウメ狩りやブドウの摘粒に挑戦した。佐々木さんは保護者に「農業は子育てと一緒に」と、安全な農作物づくりの大変さと大切さに理解を求めた。

県認定の指導農業士でもある佐々木さんは、除草剤や化学肥料を使わない園の特徴を説明。「おいしく安全なブドウを作るには、どんなに多忙でもやるべき時に世話をし、逆にやってはいけない時には我慢してじっと見つめます」と子育てとの共通点を話した。また、「今、国産農産物に目を向けないと、日本から農家が消えてしまう日がくる」と訴えた。

娘の果林ちゃん（三つ）と参加した合志市の梅田裕一さん（二九）夫婦は「少々高くても子どもには安全なものを食べさせようと思った」と話した。

交流は、佐々木さんのブドウづくりに共感した山口悦子・前園長の紹介で三年前から始まった。園児たちは自分の名前と絵を描いた袋をブドウに被せた。佐々木さんが世話をし、八月に園児たちにプレゼントする。

おやじ（園主）より

皆様方のおかげで当園も20周年の節目を迎えることが出来ました。妻と二人、有機栽培を基本に誰にでも喜んでもらえるような、“幸せ”を感じる葡萄を作るぞ！と畑を拓き祈るような気持ちで苗を1本1本植栽したことがついこの前のようです。

皆様が当園の葡萄を食べていただくときの“笑顔”、そして又、秋に皆様に会えることを思い浮かべながら、葡萄の手入れを頑張っています！

かあちゃんより

嫁・姑・母・祖母として大活躍の私です。真っ黒に日焼けした笑顔で皆様をお待ちしています。

むすこより

ずっと作りたかった農園便り、やっと発行できました！今後も続けていきたいです。

むすこのよめより

ちびっ子たちと毎日格闘中です。子育てをしながらのぶどうの仕事は大変だけど頑張っています！